

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究に関するご質問、診療情報等を研究に利用または提供されることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先まで、お問い合わせ下さい。

研究課題名	卵円形脂肪体および脂肪円柱内に見られる結晶成分の意義に関する考察
当院の研究責任者	臨床検査科 主任臨床検査技師 内田 大貴
他の研究機関 及び研究責任者	なし
本研究の目的	卵円形脂肪体(OFB)や脂肪円柱はネフローゼ症候群診断の補助的所見の1つとなるがそれらの内部に無色の針状や棒状の結晶成分が散見されることがある。今回、我々は結晶成分(脂肪酸結晶と仮称)が出現した患者情報を精査し臨床的意義の解明を試みたので報告する。
研究の方法 (対象者、利用する 試料、情報等)	脂肪貪食細胞や脂肪円柱内に脂肪酸結晶を全視野で1個以上認められた症例を陽性群とした。OFBに該当しない脂肪貪食細胞を呈する症例を陰性群とした。 陽性群23例、陰性群13例の既往歴、生化学検査結果、尿定性検査結果などを解析した。
試料、情報等の他研 究機関への提供 及び提供方法	なし
研究期間	—
個人情報の取り扱い	学会発表時は個人情報を除外する。
本研究の資金源及び 利益相反	なし
お問い合わせ先	公立学校共済組合近畿中央病院 臨床検査科 内田 大貴 072-781-3712(代)
備考	なし